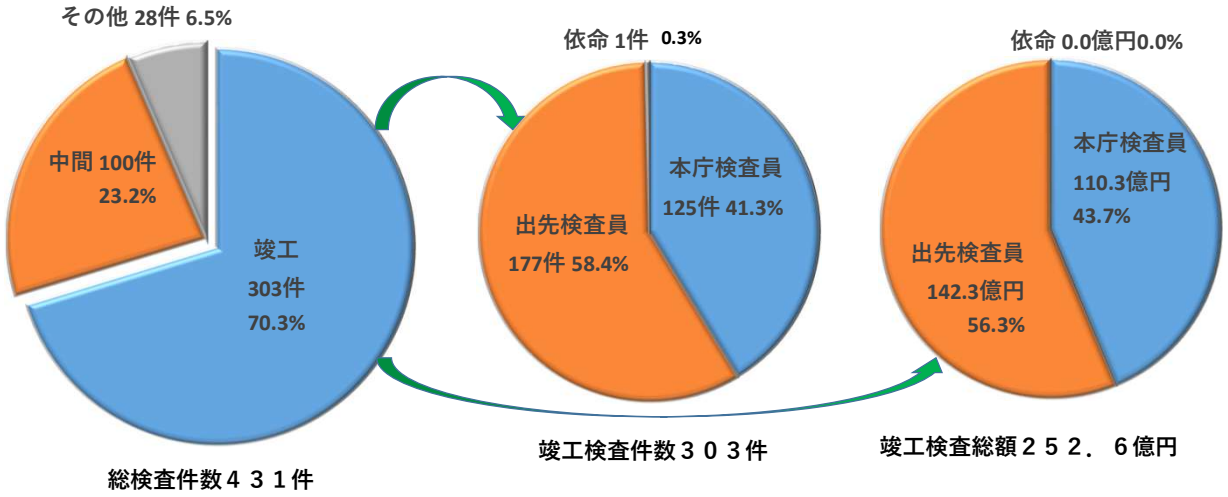
令和８年度上半期　工事検査実績　　出納局工事検査課

◇令和８年度上半期の工事検査実績は次のとおりです。
◇データ集計期間は、令和８年４月１日から令和８年９月３０日までです。

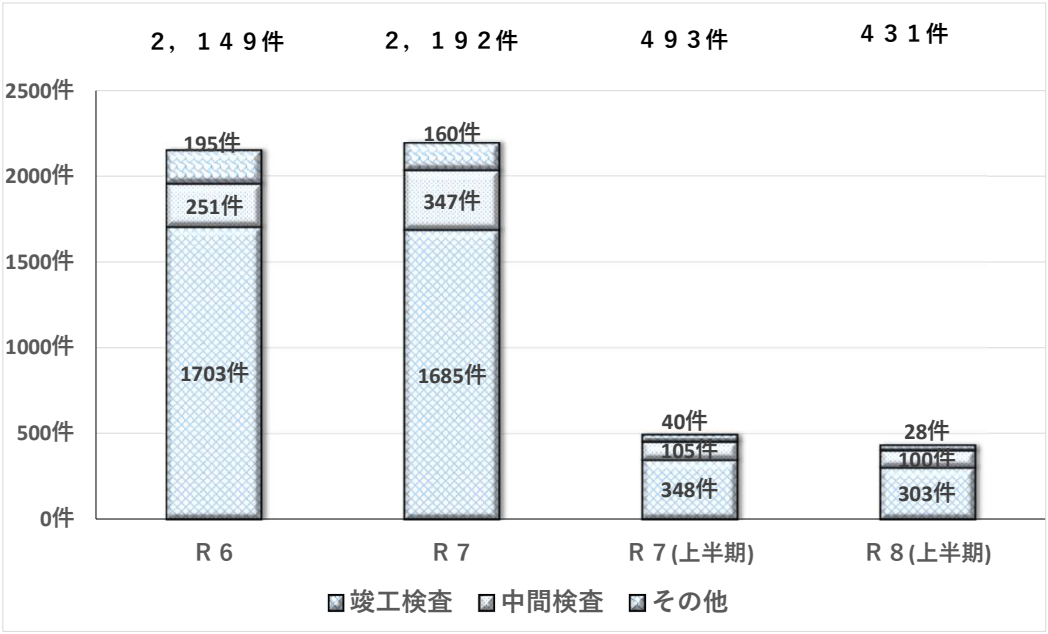
1　実績／全体

①　検査件数（検査区分別・検査員別）



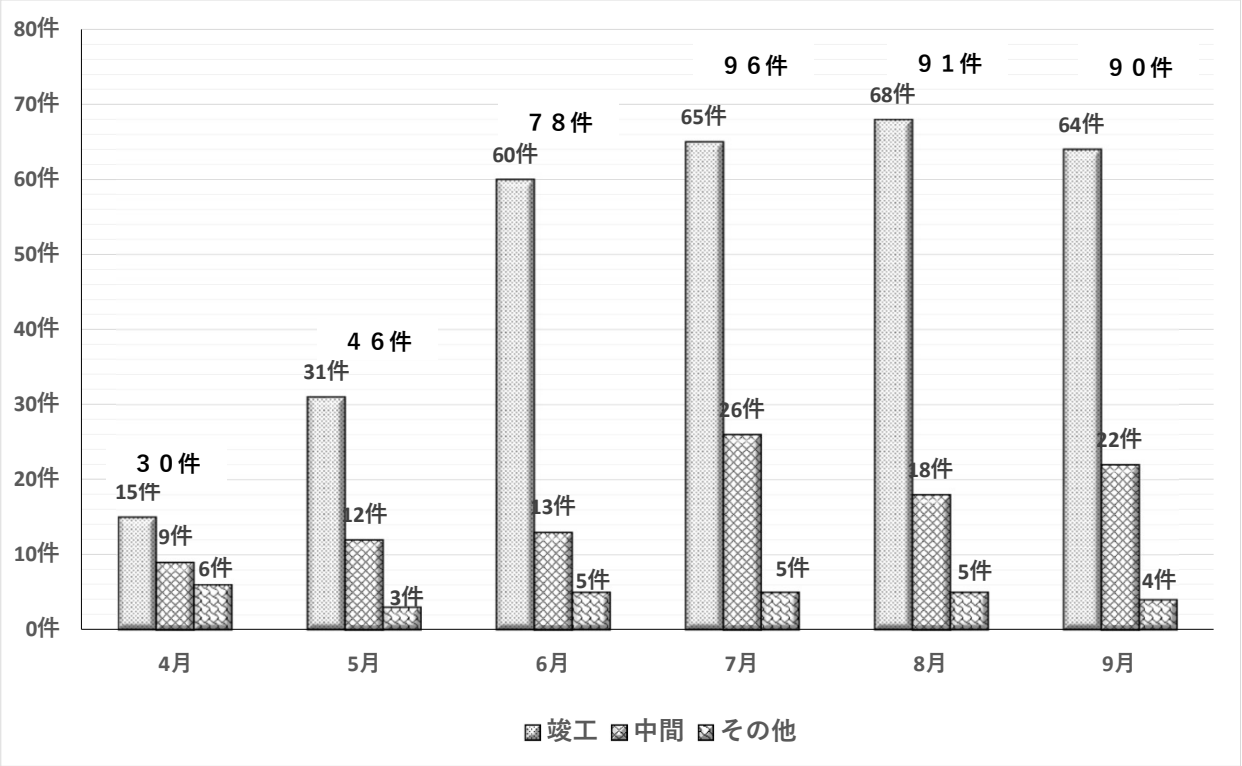
◇　令和８年度上半期の総検査件数は４３１件でした。うち、竣工検査は３０３件（70.3%）、中間検査は１００件（２３.２%）でした。
　なお、「その他」の分類には「一部竣工検査」及び「既済部分検査」が含まれています。
　竣工検査の内訳は、本庁検査員検査が１２５件（41.3%）、１１０.３億円（43.7%）、出先検査員が１７７件（58.4%）、１４２.３億円（56.3%）でした。

②　３年間の検査件数の推移



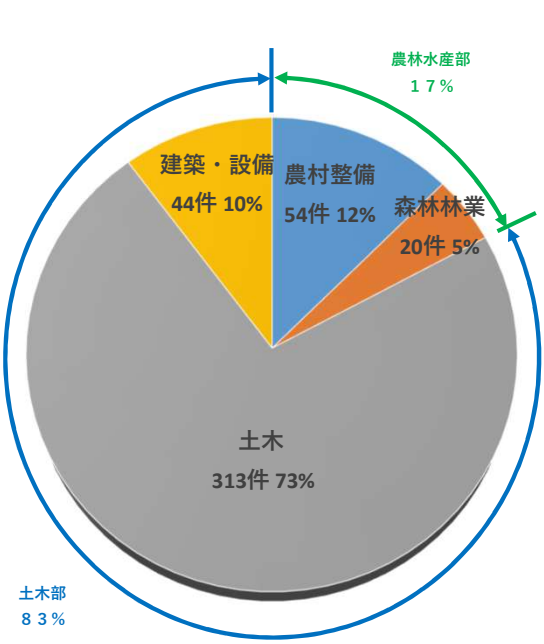
◇　令和８年度上半期の総検査件数は４３１件となり、令和７年度上半期４９３件と比較して６２件減少（12.6%減）しました。
　竣工検査は３０３件となり、前年度同期より４５件減少（12.9%減）しました。
　中間検査は１００件で前年度同期と同程度でした。その他の検査は２８件でした。

③　月別の検査件数

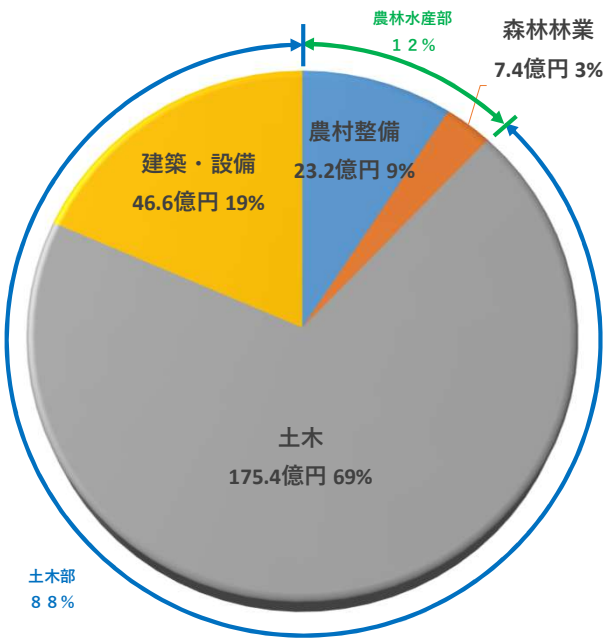


◇　令和８年度上半期月ごとの工事検査件数は、４月が最も少なく３０件、７月が最も多く９６件、中間検査件数も、７月が最も多く２６件でした。

④　総検査件数の内訳（発注者区分・竣工検査金額）



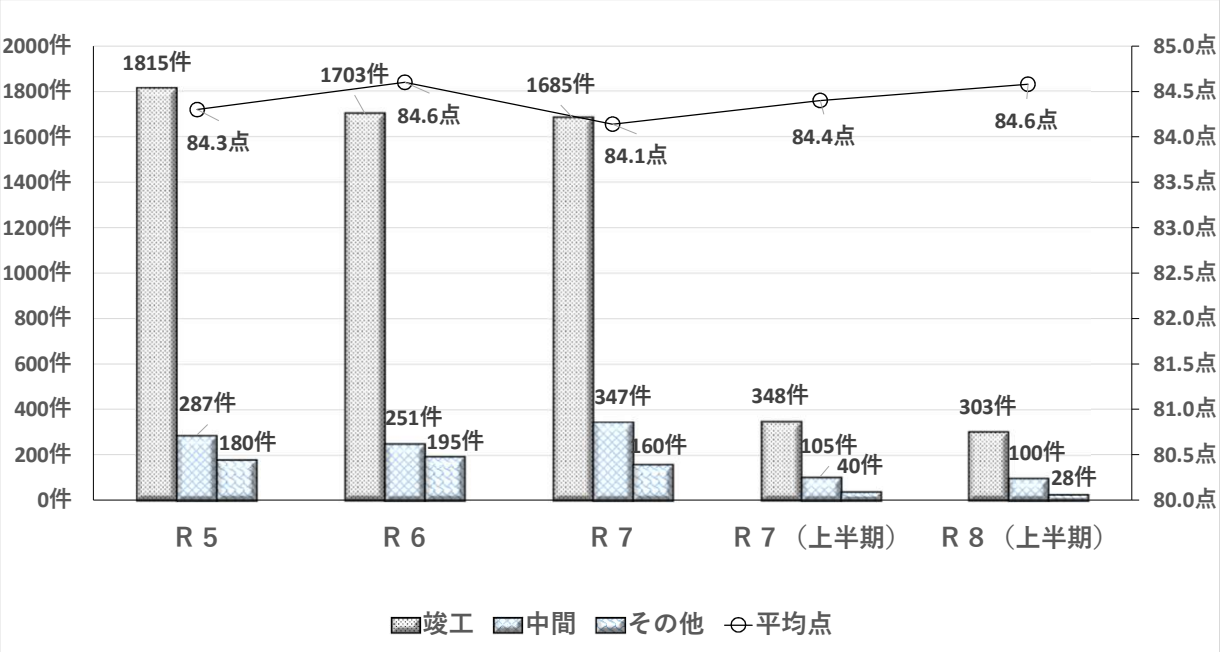
総検査件数４３１件



竣工検査総額２５２．６億円

◇　検査件数は土木部(土木、建築・設備)で８３％、農林水産部(農村整備、森林林業)で１７％、竣工検査総額では、土木部(土木、建築・設備)で８８％、農林水産部(農村整備、森林林業)で１２％でした。

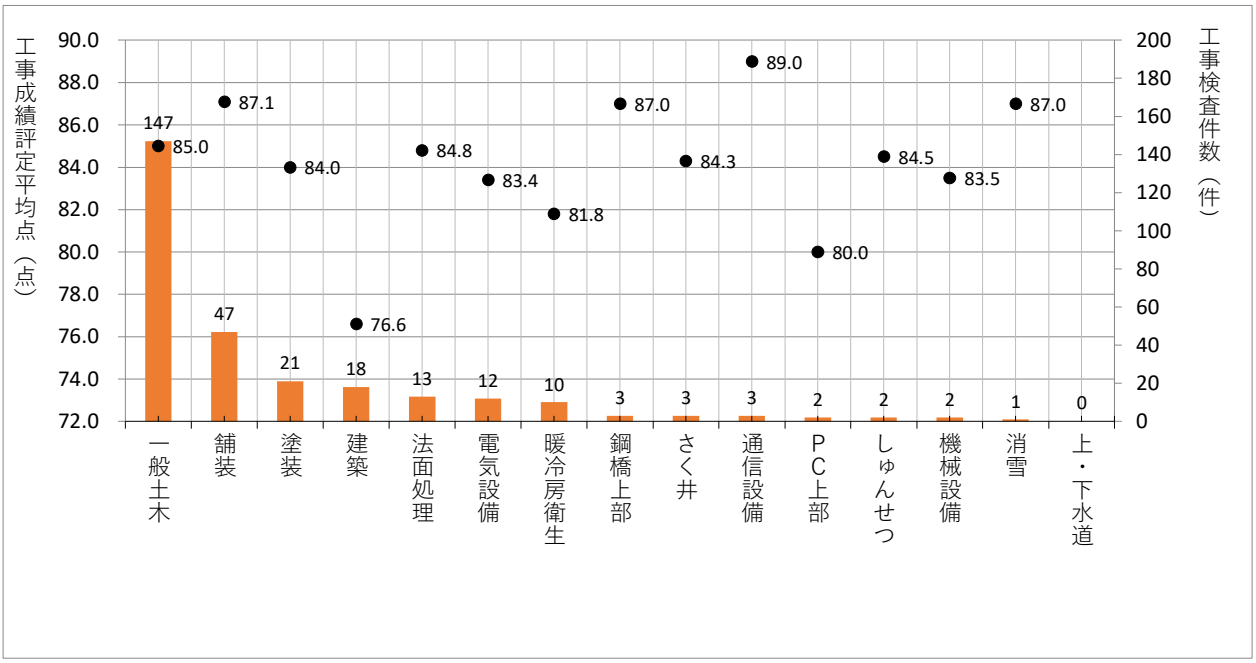
⑤　工事成績平均点の推移



◇　工事成績評定の平均点は、令和５年度８４.３点、令和６年度８４.６、令和７年度が８４.１点となっており、令和８年度上半期の工事成績評定の平均は８４.６点となりました。前年度同期と比較すると０.2点高くなっています。

⑥　工種別平均点

工種	一般土木	舗装	塗装	建築	法面処理	電気設備	暖冷房衛生	鋼橋上部	さく井	通信設備	ＰＣ上部	しゅんせつ	機械設備	消雪	上・下水道	計
平均点	85.0	87.1	84.0	76.6	84.8	83.4	81.8	87.0	84.3	89.0	80.0	84.5	83.5	87.0	－	84.6
件数	147	47	21	18	13	12	10	3	3	3	2	2	2	1	0	284



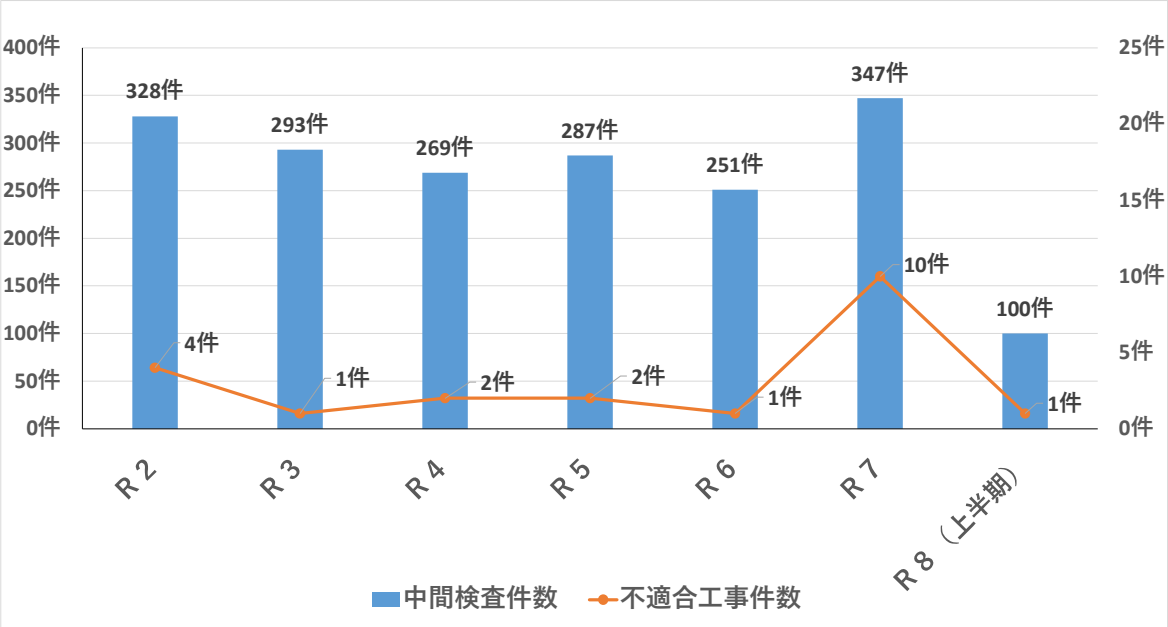
◇　工種別の工事成績評定は、全体の平均８４.６点に対して、工事件数の多い順に、一般土木８５.０点(147件)、舗装８７.１点(47件)、塗装８4.０点(21件)となっています。

2　令和８年度上半期検査結果（まとめ）

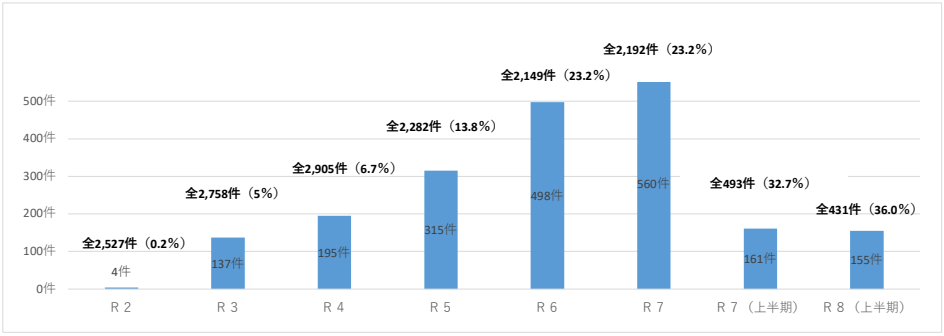
■　令和８年度上半期の検査件数は、４３１件で前年同期比で６２件（12.6%）減少しました。
　内訳は、竣工検査は３０３件（３４８件）で４５件減、中間検査１００件（１０５件）で５件減、一部竣工検査１７件（１５件）で２件増、既済部分検査１１件（２５件）で１４件減となりました。
※（　）書は令和７年度上半期

■　令和８年度上半期における竣工検査の工事成績評定平均点は８４.６点で令和７年度上半期８４.４点と比べ０．２点高くなりました。

■　令和８年度上半期において不適合工事が１件確認されました。
その内容については、ホームページで情報提供しています。



■　工事検査課では、令和２年度からインターネット双方向通信による遠隔臨場検査を実施しています。



　遠隔臨場検査については、令和８年度上半期は３６.０％（155件/全431件）の工事検査を実施し、昨年度同時期と比べ3.3ポイント増となっております。

3　発注者・受注者の皆様へ

◇　日頃より円滑な工事検査の実施にご協力いただきありがとうございます。
　工事検査課では「**適正かつ厳正な工事検査の実施**」並びに「**円滑で効率的な工事検査の実施**」を基本方針として、令和８年度の工事検査を実施しております。
　今後も、安全で質の高い公共施設の提供に資するため、建設工事の適正な履行を確認するとともに、客観性及び公平性を確保した適正な工事検査に努めてまいります。

◇　また、公共工事の品質確保に向け、**中間検査**の活用促進を図るとともに、工事成績評定の客観性、透明性及び公平性の一層の向上に取り組んでまいります。

◇　さらに、工事検査の効率化を図るため、現場や書類検査会場への移動時間削減に有効な「**遠隔臨場検査**」を積極的に活用してまいりますので、引き続き、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

◇　令和8年度上半期の検査結果を踏まえ、設計図書と施工内容の整合確認、施工管理及び発注者との情報共有等について、特に留意いただきたい事項を整理しましたので、今後の施工管理の参考にしてください。

【現場管理における留意事項】

①　設計図書の内容を十分理解し、施工内容や施工数量が、設計図書（特に図面）と整合しているかよく確認してください。

②　元請の現場代理人及び技術者は、現場全体の状況を的確に把握し、下請け任せにならないように適切な施工管理に努めてください。

③　発注者（監督員）と受注者（現場代理人）は、設計変更の要否や工事の進捗状況等について日頃から情報共有を行い、円滑な施工管理に努めてください。

④　竣工検査では、工事内容及び竣工書類の内容を十分把握し、工事目的物について適切に説明出来るよう準備してください。